

いちご組だより 4月号・懇談会資料

尚徳福社会 坂戸保育園

2021年4月

入園して数週間経ちました。生まれて初めての集団生活に「お母さんと離れて寂しい！」と泣いていた子たちも徐々に慣れ、自分で好きな玩具を見つけて笑顔で遊ぶ姿も見られるようになりました。今後も一人一人に寄り添いながら、安心して生活できるようにしていきます。また、保育園での姿をお伝えし、ご家庭での様子をお聞きしながら、一緒に子どもの成長を育んでいきたいと思ひます。一年間よろしくお願ひ致します。



0歳児の姿

～こころ～

身近な人の顔が分かり、あやしてもらおうと喜んだり、愛情をこめて関わる大人とのやり取りを楽しんだりします。この頃には、初めての人に対しては、泣いたりして人見知りをするようになりますが、これは、特定の大人との愛着関係が育まれている証拠といえます。こういった経験を通して特定の大人との愛着関係が更に強まり、この絆を拠りどころとして、徐々に周囲の大人に働きかけていくようになります。その愛されているという心の安定は、自分自身に自信がもて、自分を肯定して色々な事に挑戦する意欲の源となっていきます。

～からだ～

身体的な成長が見てわかりやすい時期です。自分で移動して、見る、物に触れるといった探索活動が多くなり、人や物への好奇心も盛んになります。座る、はう、伝い歩き、立つなど運動面での発達も進み、世界も広がります

～排泄～

「おむつ替えようね」「気持ちよくなったね」などと優しく語りかけられることで、汚れたときの不快感やきれいになったときの気持ち良さがわかってくるようになります。

～食事～

一人一人に適した離乳食から乳児食へと移行していきます。

手で持って食べたり、スプーンやコップを持って食べられるようになります。モグモグごっくんから、前歯でのかじり取りができるようになります。「いただきます」「ごちそうさま」の仕草をしようとしてします。一定時間集中して椅子に座って食べられるようになります。

～あそび～

- 体の機能の発達を促す遊びをしていきます。
- 握る、つまむ、ころがす、引っ張る、たたくなど手先を使った遊びをしていきます。
- 戸外遊び、散歩など自然に親しみ、全身を使った遊びを楽しんでいきます。
- あやされたり触れ合い遊びをして、関わって遊ぶ楽しさを味わっていきます。
- 友達に関心をもち、親しみをもちながら触れ合って遊ぶようになります。
- 「マンマ」「プープー」「ワンワン」など一語文が言えるようになり、自分の要求や気持ちを言葉や、動作で伝えようとしてします。

～睡眠～

布団で安心して眠れるように、一人ひとりの睡眠のリズムを大切にしています。次第にまとめて食後にお昼寝が出来るようになります。



一日の流れ

以下の時間は目安です。一人ひとりに合わせて過ごしています。

お部屋の中でおもちゃや触れ合い遊びを楽しみ、廊下やテラスで気分転換。また、園庭散歩に行くことも。
午前中のこの時間の睡眠は、次第になくなっていきます。

今の時期は、起きておなかの空いている子から、おやつを食べるようにしています。

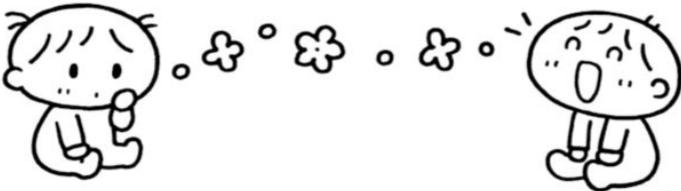


7:00	早出保育	
7:30	順次登園	
9:30	あそび、午前睡眠	
10:30	お昼ごはん	
12:00	午後睡眠、あそび	
14:00	おやつ	
15:30	あそび	
18:00	延長保育	

・着替えセット、オムツ、洋服の予備確認。
・オムツを見て汚れ確認。
・体温測定をしてください。
・前日の様子や気になる事があれば保育者にお伝えください。
全ての用意が出来たら
「いってらっしゃーい！」

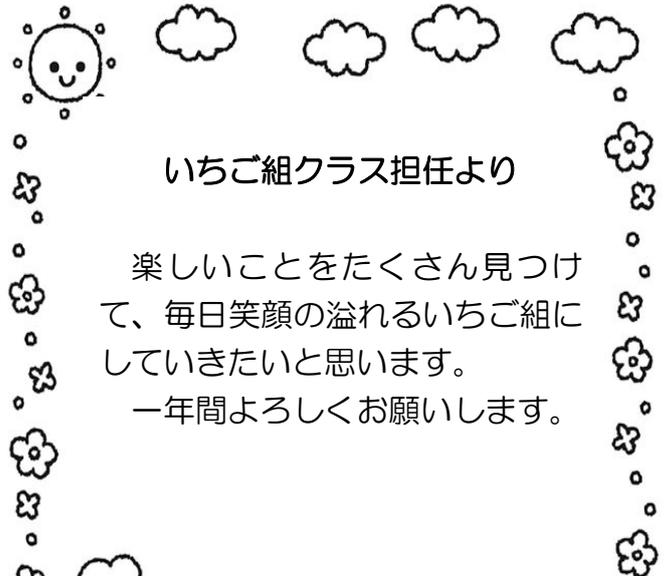


一人ひとりの様子に合わせて、膝の上や椅子に座って、1対1での食事から数人での食事へと進めていきます。
年間、成長に合わせてお昼ご飯の時間も少しずつ遅くなります。



お願い

- ☆怪我や事故の防止の為、洋服のサイズは子どもにあったもので着脱のしやすいものをご用意ください。肌着をお持ちでない方はご用意をお願いします。
- ☆持ち物には全て記名をお願いします。
- ☆お外に出る機会も増えますので、靴下の用意をお願いします。



いちご組クラス担任より

楽しいことをたくさん見つけて、毎日笑顔の溢れるいちご組にしていきたいと思います。
一年間よろしくお願いします。

